

V

**各市町の緑と農の地域資源の  
活用推進計画**



## V. 各市町の緑と農の地域資源の活用推進計画

### 1. 今後の各市町の緑と農の地域資源の活用推進計画

平成 28 年度の試行により下地のできた広域連携体制を踏まえ、これまでの各市町の取り組みを振り返り、今後検討を図る緑と農の地域資源の活用推進計画を整理する。

#### (1) 草加市

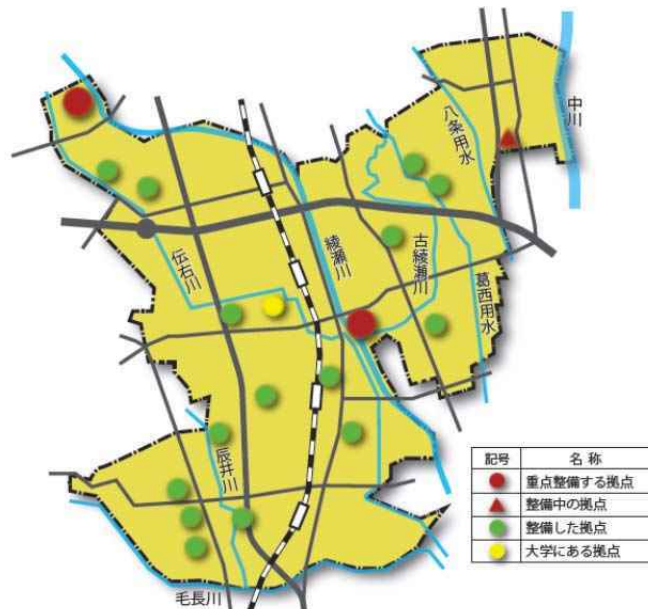
<p><b>テーマ</b></p>	<p>草加市における水とみどりのネットワークの形成について</p>
<p><b>今年度の取組み</b></p>	<p>平成28年度から実施している第二次草加市環境基本計画で、重点プロジェクトとして「生物多様性の保全と活用『草加市生物多様性地域戦略』の策定に向けて」を位置づけている。プロジェクト方針に「水とみどりのネットワークの形成」を掲げて事業を展開している。本方針は、①主要な河川、水路や緑道、公園や広場、屋敷林や農地などにより「水とみどりのネットワーク」を形成し、生物多様性を補完する「場の確保」を図るものであり、②サンクチュアリやビオトープなどの適正な維持管理を推進し、生きものの生息・生育の場として「質の向上」を図ることを企図している。</p> <p>本年度の取組は次のとおり</p> <p>①古綾瀬自然ひろばの整備 古綾瀬川の河道整備に伴い、残った旧河道をビオトープとして設置した古綾瀬自然ひろばは、地元2町会と草加環境推進協議会に管理を委託している。草加環境推進協議会は、ビオトープ本体の維持管理を行っており、植生や水質等の調査や周辺の草刈り等を実施している。広場の開放に伴い、市は転落防止の対策をしたほか、池の水面除草等を行っている。</p> <p>②綾瀬川バードサンクチュアリの整備 綾瀬川の河道整備に伴い設置したビオトープで、鳥と友だち広場・トンボ池、あやせ新栄ビオトープから形成されている。トンボ池は、市内の希少種の避難場所としている。整備から25年近く経過したことから、市は老朽化した鳥と友だち広場・トンボ池の再整備を引き続き実施中で、池や水路等の再整備、侵入防護柵の整備や繁茂しすぎた植栽等の伐採等を行っている。</p> <p>③葛西用水の多自然型護岸整備 県とともに平成28年3月まで整備を行ったが、本用水はキタミソウの生息地でもあり、秋から初春にかけて発芽・開花がみられる。護岸工事にはキタミソウに配慮し工事を進めた。同用水は冬季通水も行われることから、キタミソウが水没しないよう水位の設定に注意を払い、管理している。地元町会や生態系保護協会は、用水のごみ拾いなどを実施している。市としても適宜臨時の観察路を設置するほか、観察会を実施して市民に関心を高めている。</p>

今後の計画

多様な生きものの生息・生育基盤となっている場所のつながりが確保された生態系ネットワークの基幹として、水辺空間や緑地、サンクチュアリなどにより、水とみどりのネットワーク形成を図っていく予定。

引き続き、重点整備する拠点として位置づけている古綾瀬自然ひろばや綾瀬川バードサンクチュアリ等の維持管理を進めるとともに、獨協大学構内や東埼玉資源環境組合第二工場内のビオトープ等との連携が可能か、管理者等とも情報の共有化を進めながらネットワークの拠点づくりを展開していく予定。

水とみどりのネットワークの形成方針図



図V-1

## (2) 越谷市

<b>テーマ</b>	平方地区での保全・活用
<b>今年度の取組み</b>	<p>(自然観察林)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・草刈・清掃などの管理作業の実施</li> </ul> <p>(屋敷林の保全)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の「緑のオアシス」認定者へのアンケート調査の実施</li> </ul> <p>(地域における活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内での「こども自然塾」の開催</li> </ul>
<b>今後の計画</b>	<p>(自然観察林)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生との共同作業による管理方策の検討</li> </ul> <p>(古利根川周辺の整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在行っている埼玉県による河川工事後の遊歩道等整備に向けた調整</li> </ul> <p>(屋敷林の保全)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート結果を参考にした、管理支援策の検討</li> </ul>

## (3) 八潮市

<p><b>テーマ</b></p>	<p>「大曽根ビオトープ」での取組みの整理・成果&amp;課題等の抽出</p>
<p><b>今年度の取組み</b></p>	<p>【大曽根の湿地・ビオトープを守る会の主な活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●植生の管理 →外来種の駆除、希少種の保護</li> <li>●環境学習 →大曽根小学校5年生を対象とした生き物調べ等</li> <li>●川ガキ育成 →カヤック乗り</li> <li>●八潮市民まつりへの参加 →パネル展示及び生き物とのふれあい体験</li> </ul>
<p><b>今後の計画</b></p>	<p>大曽根ビオトープについては、平成21年に国土交通省江戸川河川事務所、八潮市、及び大曽根の湿地ビオトープを守る会の3者で覚書を交わし管理運用を行っている。管理運用の開始から7年が経過した現在、ビオトープを守る会より池のかい掘りを実施したい旨の要望があげられているが、資金や人手不足により実施できておらず、市としてもその必要性を判断するのが難しい状況である。</p> <p>そのため、実施の必要性の検討を行うとともに、その必要性が認められた場合は、地域住民、近隣の小中学生、また企業や大学生に協力をしてもらい、かい掘りを行うことはできないか検討する。</p> <p>しかし、現地までの交通手段の問題（駐車場が確保できない等）、またかい掘りに対する知見不足等の課題もあるため、どの程度の規模で、どのような方法で行うか等十分な検討が必要である。</p> <p>かい掘りの活動を通じ、環境保全への意識醸成を図るとともに、環境学習の場を提供し、さらには、大曽根ビオトープを知ってもらい、理解してもらうことで、今後も継続的に活動に加わってもらえるよう啓発していくことができると考える。</p>

## (4) 三郷市

<b>テーマ</b>	ふるさとの川、水辺の再生（ホタル自然発生期待）事業
<b>今年度の取組み</b>	<p>■事業目的 市内の自然環境の調査として、ホタルの生育条件の良い場所に、ホタルの幼虫を放虫し、自然発生を期待するとともに、自然の大切さを学ぶ機会の提供を行う。 ※平成23年度から実施。</p> <p>■実施内容 5月下旬に、ハイケボタル最終齢（成虫になる一歩手前）の幼虫200匹を自然水路（素掘りの農業用の水路や水田等）に放虫し、7月下旬に自然発生数（羽化した成虫）の確認及びホタルの観察を行う。</p>
<b>今後の計画</b>	引き続き、同事業を行うことで、緑と農の地域資源の活用推進を図ってきたい。

## (5) 吉川市

<p><b>テーマ</b></p>	<p>①よこまちの杜（平成23年7月開園） ②二郷半用水路の桜並木 ③田園風景</p>
<p><b>①よこまちの杜の状況</b></p>	<p>①よこまちの杜（平成23年7月開園） 平成16年に寄贈された約400年続いた旧家の跡地の屋敷林です。敷地は約六千六百平方メートル、整備や維持管理を地元自治会と会員と市の協働で行っている。 樹齢300年を超えるクスノ木をはじめ多数の古木があり、豊かな自然が昔の原風景のまま残っている。また鳥や植物、昆虫などさまざまな生きものがいる憩いの場となっている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <p>写真V-1</p> <p>写真V-2</p> <p>写真V-3</p> </div>
<p><b>②二郷半用水路の桜並木の状況</b></p>	<p>②郷半用水路の桜並木 延長約3.4kmに534本のソメイヨシノがあり2か所にポケットパークが整備されている。 吉川団地近くのポケットパークは関公園とも隣接しており春には花見客で賑わい、さくらまつりも行われ関公園での模擬店・提灯の飾りつけがある。</p>
<p><b>③田園風景の状況</b></p>	<p>③田園風景 市の北部にある工業団地から南側を見ると直線距離で数キロメートルにわたり田園風景が広がる。その面積は、ヘクタールほどの農地が連なっている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <p>写真V-4</p> <p>写真V-5</p> </div>



(6) 松伏町

<p><b>テーマ</b></p>	<p>身近な生き物の一生を観察しよう！(仮)</p>
<p><b>今年度の取組み</b></p>	 <p style="text-align: center;">図 V-2</p>
<p><b>今後の計画</b></p>	<p><b>【概要】</b>          学校のプールに産卵したトンボの卵が孵化し、ヤゴになった時点で子どもたちが捕獲し、公園の池に放流して成虫になったものを観察する。</p> <p><b>【対象】</b>          小学生とその保護者</p> <p><b>【場所】</b>          金杉小学校プール(予定)及びまつぶし緑の丘公園トンボ池</p> <p><b>【スケジュール】</b>          秋…使われなくなった学校プールにトンボが産卵          春…ヤゴを捕獲・トンボ池に放流          秋…トンボ観察会の実施</p>

